

第 10 章 文化財

第 1 節 文化財保護体制の充実

1 指定文化財保護体制の充実 (文化財パトロール)

例年、文化財保護体制の充実を図るため、民間の有識者を文化財保護指導委員に委嘱し、パトロール計画に基づいて、定期的に国・県指定重要文化財や重要遺跡の巡視を行い、その現況把握に努めてきた。令和 4 年度は県内 15 地区 116 件の文化財を巡視した。

2 文化財保護指導者研修会

(1) 趣旨

文化財に関する知識の普及と愛護精神の高揚を図るため、公益財団法人福島県文化振興財団と県教育委員会の共催により実施した。文化財の保護について指導的立場にある関係者に対し、文化財に関する専門的事項について講習を行い、市町村における文化財保護行政の進展に役立てることを目的とする。

(2) 期日及び場所

令和 4 年 10 月 20 日(木)～21 日(金)
会津坂下町広瀬コミュニティセンター
会津坂下町埋蔵文化財センター

(3) 内容

ア 講義内容及び講師

- (ア) 「県内の無形民俗文化財等の現況について」
五十嵐祐介 (福島県教育庁文化財課)
- (イ) 「会津坂下町埋蔵文化財センターの整備」
吉田博行 (会津坂下町埋蔵文化財センター)
- (ウ) 「変貌する地域の記録から文化財の保護へ
一戦後の民俗文化財と山口弥一郎」
内山大介 (福島県立博物館)

イ 現地研修

会津坂下町埋蔵文化財センター (会津坂下町) 見学

3 市町村文化財保護担当者会議

(1) 趣旨

県内市町村の文化財行政担当者が職務を遂行するうえで必要な知識の習得を図り、また、実務上の疑問点や問題点等について質疑・意見交換することによって、より円滑に文化財行政を推進させることを目的とする。

(2) 期日及び場所

4 月 28 日 (木) 県庁正庁 (福島市)
5 月 20 日 (金) Zoom によるオンライン
6 月 15 日 (水) Zoom によるオンライン
9 月 15 日 (木) Zoom によるオンライン
12 月 27 日 (火) Zoom によるオンライン

(3) 内容

- ア 文化財行政の動向
- イ 令和 4 年度事業について
- ウ 指定文化財の対応について 等

第 2 節 埋蔵文化財の保護の充実

1 埋蔵文化財保護体制

県の歴史と文化を物語る文化財や県内の遺跡への関心は、県民の中で着実に高まっていることから、県教育委員会は、埋蔵文化財 (遺跡) の保存・保護のため調査体制の充実を図ってきた。

また、県の委託により発掘調査を行っている公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部においては、財団職員 22 名で調査にあたった。

公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部職員数

年度	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7
人員	26	26	30	40	44	47	47	55	60	60	62	62	62	62
年度	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
人員	62	62	68	68	76	61	39	40	40	40	41	41	38	32
年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	
人員	26	26	35	40	39	37	32	30	32	26	22	25	22	

(平成 14 年度までは遺跡調査課定数)

2 開発事業地内の保護対策

開発事業地内の遺跡の保護は、遺跡の所在・範囲・内容等を明らかにする「分布調査」「試掘・確認調査」の結果により、事業者と遺跡を保護するための「保存協議」を行い、現状保存ができない場合は、発掘調査により「記録保存」し、その成果を調査報告書としてまとめることで対応している。

(1) 分布調査、試掘・確認調査

分布調査、試掘・確認調査は、遺跡を保護するための情報を収集することを目的としている。

令和 4 年度は、会津縦貫北道路 18,500 m²、阿武隈川上流大規模災害関連事業 17,200 m²、国道 4 号事故対策事業 550 m²、東北自動車道床版取替工事 15 m²、計 36,265 m²の試掘・確認調査を実施した。

なお、復興事業に係る埋蔵文化財調査については別記した。

(2) 保存協議

昨年度からの継続協議を含め、関係機関と保存協議を実施した。

関係機関：国土交通省、県土木部、ネクスコ東日本等。

(3) 発掘調査

県教育委員会では、開発に伴う発掘調査 (記録保存目的の本発掘調査) を公益財団法人福島県文化振興財団に委託

し、以下の遺跡について実施した。

- ・一般県道落合線整備事業：丈六横穴墓群・丈六古墳群（浪江町）250 m²
- ・小名浜道路整備事業：添野町大町遺跡（いわき市）350 m²
- ・只見川流域築堤工事：中西部遺跡（金山町）12,000 m²
- ・農山村地域復興基盤総合整備事業：塚田B遺跡（南相馬市）990 m²

なお、県内市町村においても開発に伴う発掘調査を各市町村文化財保護担当部局が実施しているが、遺跡の重要性や調査体制の実情に応じ、適時指導・助言している。

3 令和4年度の復興事業に係る埋蔵文化財調査状況

東日本大震災及び原子力災害に係る復旧・復興事業計画区域内において、埋蔵文化財の分布調査、試掘・確認調査を迅速に実施し、復興事業計画に遅れが出ないように対応した。

さらに、被災市町村に対して埋蔵文化財調査に係る技術協力を実施し、復興事業の迅速化に寄与してきた。

〈令和4年度〉復興調査体制
（南相馬市駐在）

課長 — 副課長 — 県専門職員
（6名）

調査対応した開発事業は以下のとおりである。

(1) 分布調査

農山村地域復興基盤整備、県道整備、中間貯蔵施設等
3,789,785 m²

(2) 試掘・確認調査

農山村地域復興基盤整備、県道整備、中間貯蔵施設等
211,279 m²

(3) 復興・再生事業等に係る市町村技術協力

- ・浪江町、飯館村、双葉町、大熊町、楡葉町、広野町への技術協力
- ・第21回 東日本大震災の復旧・復興に伴う埋蔵文化財の取扱いに関する連絡会 11月30日開催（富岡町）
- ・各市町村訪問

4 埋蔵文化財保護体制充実のための研修

(1) 福島県文化財センター白河館文化財研修

公益財団法人福島県文化振興財団が指定管理を行っている福島県文化財センター白河館において、埋蔵文化財の調査を担当する自治体・団体職員などを対象とした研修会を実施し、238名が受講した。

(2) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財担当者専門研修

令和4年度に受講した者は以下のとおり。

研修名称	期 日	受 講 者
建造物保存活用 計画策定課程	7月4日 ～7月8日	南相馬市教育委員会 文化財課 1名
文化財デジタル アーカイブ課程	7月25日 ～7月29日	郡山市文化スポーツ 部文化振興課 1名
層序学・堆積学・ 土壌学基礎課程	9月26日 ～9月30日	福島県教育庁文化財 課 1名
遺跡技術調査 課程	9月12日 ～9月16日	南相馬市教育委員会 文化財課 1名
保存科学（材質・ 構造調査）	10月11日 ～10月14日	公益財団法人福島県 文化振興財団 1名
史跡等保存活用 計画策定課程	1月17日 ～1月23日	会津若松市教育委員 会文化課 1名
文化財三次元 計測入門課程	1月17日 ～1月19日	公益財団法人いわき市 教育文化事業団 1名
文化財多言語化 課程（オンライン）	3月10日	白河市建設部文化課1名 公益財団法人福島県 文化振興財団 1名

5 埋蔵文化財保護普及活動

令和4年度に刊行した埋蔵文化財調査報告書は以下のとおり。

- ・福島県内遺跡分布調査報告 29
- ・東日本大震災復興関連遺跡調査報告 9
- ・阿武隈川上流河川改修事業御代田地区遺跡調査報告 1
- ・小名浜道路整備事業遺跡発掘調査報告
- ・県道小野富岡線関連遺跡発掘調査報告 1
- ・県道落合浪江線関連遺跡発掘調査報告 1

6 市町村埋蔵文化財調査技術協力事業

この事業は、県内の市町村教育委員会が実施する埋蔵文化財発掘調査等について、市町村教育委員会からの要請により県教育委員会が埋蔵文化財の調査等に必要な技術を協力・支援する事業である。

調査等に必要な技術の協力・支援を行う職員は、県教育委員会の依頼により公益財団法人福島県文化振興財団が選任した財団職員で、分布調査、試掘・確認調査、小規模な発掘調査及び出土遺物の整理や報告書作成に関する技術の協力・支援を行う。

令和4年度の技術協力の実績は、下記のとおり。

市町村	遺 跡 名	協力内容
二本松市	上竹遺跡	試掘・確認調査
湯川村	下樽川西遺跡隣接地	試掘・確認調査
下郷町	大松川地区 栗林遺跡	分布調査 試掘・確認調査
広野町	HN-KOU.B1	試掘・確認調査
双葉町	深谷B遺跡及びその隣接地	試掘・確認調査
泉崎村	原地区	分布調査
大玉村	上高野地区	分布調査

7 開発事業に伴う試掘・確認・発掘調査件数

(1) 令和4年度 試掘・確認調査件数

(令和4年4月～令和5年3月)

No	調査原因	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1	道路	4	3	2	3		11	8	31
2	河川	1	1	1					3
3	ダム								0
4	住宅		45				1	2	48
5	個人住宅	22	79	1			6	3	111
6	店舗		7					1	8
7	その他建物	3	19		1		6	2	31
8	宅地造成	6	23		2			2	33
9	土地区画整理		2						2
10	公園造成							1	1
11	電気・ガス・水道等		2	1	1		4	1	9
12	農業基盤整備事業（農道等を含む）		1				14		15
13	その他の農業関係事業								0
14	土砂採取	1							1
15	その他開発	6	8		3	1	14	1	33
合 計		43	190	5	10	1	56	21	326

(2) 令和4年度 発掘調査件数

(令和4年4月～令和5年3月)

No	調査原因	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1	道路	3	1				1	3	8
2	河川		1						1
3	学校建設	1							1
4	集合住宅								0
5	個人住宅				1				1
6	その他建物	1	2		1			1	5
7	宅地造成	1							1
8	土地区画整理								0
9	農業基盤整備事業（農道等を含む）				3				3
10	その他の農業関係事業								0
11	土砂採取								0
12	その他開発						4		4
合 計		6	4	0	5	0	5	4	24

8 範囲内容確認調査・史跡整備に係る調査・学術調査

No	調査原因	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1	範囲内容確認調査	3	2	1	5		2	1	14
2	史跡整備に係る調査		1	1		1	1	1	5
3	学術調査	1	1		4				6
合 計		4	4	2	9	1	3	2	25

9 令和4年度 試掘・確認調査

No	遺跡名	所在地	調査主体者	調査実施期間	調査面積 (㎡)	時代	種別	調査原因
1	浪江町遺跡推定地1箇所	双葉郡浪江町大字西台	県教委	4月25日～4月28日	61	弥生・古墳・奈良・平安	散布地・集落跡	道路
2	植畑遺跡ほか3箇所	双葉郡浪江町大字北幾世橋、大字棚塩	県教委	5月9日～5月12日	113	縄文・弥生・奈良・平安	散布地・集落跡	道路
3	上田郷VI遺跡	双葉郡広野町大字上北迫	県教委	6月20日～6月21日	33	縄文	散布地	道路
4	飯館村遺跡推定地1箇所	相馬郡飯館村八木沢	県教委	9月8日	10	—	—	電気
5	大熊町遺跡推定地1箇所	双葉郡大熊町熊川	県教委	11月21日～11月22日	40	—	—	道路
6	浪江町遺跡推定地1箇所	双葉郡浪江町昼曾根	県教委	1月5日～1月6日	40	—	—	道路
7	北原貝塚ほか3箇所	南相馬市小高区浦尻	県教委	1月16日～2月1日	247	縄文等	貝塚等	道路
8	西原C遺跡	双葉郡双葉町大字郡山	県教委	10月31日～11月1日	68	弥生・古墳・奈良・平安	集落跡	中間貯蔵
9	岩下遺跡ほか1遺跡	南相馬市原町区大字片倉	県教委	6月13日～6月14日 11月10日	77	縄文等	散布地等	農地整備
10	八重畑遺跡	南相馬市原町区大字中太田	県教委	11月14日	7	奈良・平安	散布地	農地整備
11	天神谷地遺跡ほか3遺跡	南相馬市原町区大字上高平、上北高平	県教委	11月15日～12月13日	45	縄文・弥生	散布地	農地整備
12	南相馬市遺跡推定地1箇所	南相馬市原町区大字下高平	県教委	11月28日～11月29日	50	—	—	道路
13	今宮遺跡ほか1箇所	南相馬市鹿島区大字栃窪	県教委	12月5日～12月8日	1,255	奈良・平安	散布地	農地整備
14	北山下遺跡ほか1箇所	南相馬市鹿島区山下	県教委	1月10日～2月16日	484	縄文・平安	集落跡	農地整備
15	南相馬市遺跡推定地2箇所	南相馬市小高区葉倉、北鳩原	県教委	2月20日～2月22日	59	—	—	農地整備
16	北新田塩田跡	南相馬市小高区井田川	県教委	2月27日～3月2日	120	近世	生産遺跡	農地整備
17	上ノ原遺跡ほか1箇所	双葉郡広野町折木	県教委	1月24日	15	近世	散布地	農地整備
18	浪江町遺跡推定地1箇所	双葉郡浪江町大字樋渡	県教委	5月16日～6月2日	520	—	—	農地整備
19	浪江町遺跡推定地1箇所	双葉郡浪江町大字請戸	県教委	9月26日～11月2日	626	—	—	農地整備
20	双葉町遺跡推定地1箇所	双葉郡双葉町大字下羽鳥	県教委	10月19日～10月21日	36	—	—	道路
21	北平D遺跡ほか1箇所	双葉郡葛尾村大字葛尾	県教委	11月7日～11月9日	53	近世	製鉄跡	農地整備
22	飯館村遺跡推定地6箇所	相馬郡飯館村大字佐須	県教委	6月27日～9月16日	821	—	—	農地整備
23	大火遺跡ほか3箇所	相馬郡飯館村大字飯樋	県教委	8月1日～8月24日	416	縄文	散布地	農地整備
24	遠上遺跡	双葉郡川内村	県教委	実施なし	0	縄文・平安	散布地	農地整備
25	下木戸遺跡	田村市	県教委	実施なし	0	縄文・平安	散布地	農地整備
26	久保遺跡	二本松市舘野4丁目	県教委	11月7日	6	—	—	道路
27	鶴沼B遺跡ほか4遺跡	会津若松市高野町大字木流字橋本ほか	県教委	11月14日～12月14日	954	奈良・平安	集落跡	道路
28	矢吹町遺跡推定地	矢吹町中沖	県教委	3月6日～3月10日	416.4	—	—	遊水地
29	矢吹町遺跡推定地	矢吹町北浦	県教委	3月16日	5	—	—	道路

10 令和4年度 発掘調査

No	遺跡名	所在地	調査主体者	調査実施期間	調査面積 (㎡)	時代	種別	調査原因
1	丈六横穴墓群及び丈六古墳群	浪江町大字高瀬字丈六	県教委	4月25日～6月17日	250	古墳	古墳	道路
2	添野町大町遺跡	いわき市添野町大町	県教委	5月9日～5月31日	350	中世	集落跡	道路
3	中西部遺跡	金山町大字大塩字中西部	県教委	5月9日～11月25日	12,000	縄文・弥生 ・平安	集落跡	河川
4	塚田B遺跡	南相馬市原町区下太田字塚田	県教委	4月26日～9月27日	990	弥生・古墳	集落跡	農地整備

第3節 文化財保存助成の充実

1 文化財保存助成事業

国指定文化財の防災設備保守点検等の管理に必要な経費について、助成を行った。

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
国指定文化財管理	延命寺	延命寺地蔵堂	建造物	防災保守点検等	66,000	15,000	15,000	36,000
国指定文化財管理	八葉寺	八葉寺阿弥陀堂	建造物	防災保守点検等	57,200	13,500	13,500	30,200
国指定文化財管理	横山操	旧滝沢本陣 横山家住宅	建造物	防災保守点検等	128,700	25,000	25,000	78,700
国指定文化財管理	飯盛正徳	旧正宗寺三匠堂	建造物	防災保守点検等	165,560	37,500	37,500	90,560
国指定文化財管理	勝福寺	勝福寺観音堂	建造物	防災保守点検等	434,500	107,500	107,500	219,500
国指定文化財管理	熊野神社	熊野神社長床	建造物	防災保守点検等	2,866,900	287,000	287,000	2,292,900
国指定文化財管理	円満寺	円満寺観音堂	建造物	防災保守点検等	1,019,700	225,000	225,000	569,700
国指定文化財管理	恵隆寺	恵隆寺観音堂	建造物	雪降し、除雪等	96,093	24,000	24,000	48,093
国指定文化財管理	法用寺	法用寺本堂内 厨子及び仏壇	建造物	防災保守点検	44,000	10,000	10,000	24,000
国指定文化財管理	常福院	常福院薬師堂	建造物	防災保守点検	55,000	11,500	11,500	32,000
国指定文化財管理	福生寺	福生寺観音堂	建造物	防災保守点検	66,000	12,500	12,500	41,000
国指定文化財管理	八幡神社	八幡神社	建造物	防災保守点検	134,450	33,500	33,500	67,450
国指定文化財管理	飯野八幡宮	飯野八幡宮	建造物	防災保守点検等	1,178,037	259,000	259,000	660,037
計	13件				6,312,140	1,061,000	1,061,000	4,190,140

2 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業を除く）

文化財の修理・防災・整備・調査・管理、埋蔵文化財保存調査等の事業（保存事業）とそれらの文化財を活用した事業（活用事業）を一体的に行った事業（保存活用事業）に必要な経費について、助成を行った。

(1) 国指定文化財

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
建造物保存修理	勝常寺	勝常寺薬師堂	建造物	建造物修理	65,950,504	45,795,000	2,500,000	17,655,504
建造物保存修理	円満寺	円満寺観音堂	建造物	建造物修理	18,229,718	15,229,000	630,000	2,370,718
美術工芸品保存修理	三島町	福島県荒屋敷遺跡出土品	美術工芸品 (考古資料)	考古資料修復	4,069,301	1,985,000	250,000	1,834,301
計	3件				88,249,523	63,009,000	3,380,000	21,860,523

(2) 県指定文化財

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
建造物保存修理	福島市	旧奈良輪家住宅	建造物	建造物修理	11,287,200	0	3,760,000	7,527,200
建造物保存修理	高蔵寺	高蔵寺三重塔	建造物	建造物修理	29,524,100	0	9,820,000	19,704,100
建造物保存修理	宮崎区	大悲堂	建造物	建造物修理	8,312,590	0	2,770,000	5,542,590
建造物保存修理	只見町	旧長谷部家住宅	建造物	建造物修理	7,341,210	0	2,440,000	4,901,210
美術工芸品保存修理	恵隆寺	木造二十八部衆立像	美術工芸品	彫刻修復	3,467,000	0	1,150,000	2,317,000
美術工芸品保存修理	南須釜区	東福寺十二神将	美術工芸品	彫刻修復	2,483,512	0	840,000	1,643,512
記念物保存修理	矢祭町	戸津辺のサクラ	天然記念物	指定地内整備	7,110,000	0	2,330,000	4,780,000
計	7件				69,525,612	0	23,110,000	46,415,612

3 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業）

台風19号等により被災した国指定文化財の修復等保存事業に必要な経費について、助成を行った。

事業区分	補助事業者	名称	種別	事業内容	金額（単位：円）			
					事業費	国庫補助	県費補助	その他
災害復旧	飯野八幡宮	飯野八幡宮宝蔵	建造物	災害復旧工事	6,446,840	4,445,000	450,000	1,551,840
災害復旧	安積歴史博物館	旧福島県尋常中学校本館	建造物	災害復旧工事	23,110,000	19,643,000	500,000	2,967,000
災害復旧	桑折寺	桑折寺山門	建造物	災害復旧工事	1,606,000	0	530,000	1,076,000
災害復旧	国見町	旧佐藤家住宅	建造物	災害復旧工事	1,727,000	0	570,000	1,157,000
災害復旧	南会津町	旧南会津郡役所	建造物	災害復旧工事	22,725,313	0	5,300,000	17,425,313
災害復旧	如宝寺	鈴木信教墓	史跡	災害復旧工事	4,246,352	0	1,410,000	2,836,352
災害復旧	日光寺	旧修験日光院所蔵修験資料	有形民俗文化財	災害復旧工事	1,321,100	0	440,000	881,100
計	7件				61,182,605	24,088,000	9,200,000	27,894,605

第4節 文化財の保護と公開の推進

1 第64回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

北海道・東北地区に伝承されている民俗芸能を広く一般に公開し、その価値を周知するとともに、無形民俗文化財の保存・伝承、文化財公開による地域振興等に寄与する。

期 日 令和4年 10月15日 リハーサル・実行委員会
10月16日 開会式・民俗芸能公開
場 所 三沢市公会堂（青森県三沢市）

2 文化財保護強調週間の実施

文化財保護の一層の推進を図るために、11月1日から11月7日までの文化財保護強調週間を中心に、チラシを配布し、県民に対し啓発を行った。

3 文化財防火デーの実施

文化財の防火について、所有者・管理者はもとより、県民の理解と協力を高めるため、1月26日の文化財防火デーを中心に、チラシを配布するなど啓発を行った。

また、各市町村においては、消防署等の協力を得て、防火訓練、防火診断、防火査察等を実施した。

第5節 銃砲刀剣類の登録状況

美術品若しくは骨とう品としての価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品としての価値のある刀剣類の登録審査会を次のとおり実施した。

1 登録審査委員

佐藤安弘、阿部榮、溝井辰美、塚本剛之

2 登録審査会の実施状況

期 日	会 場	審査数	失格数	登録数	登録数の内訳	
					刀 剣	銃 砲
6月 3日	いわき合同庁舎	9	1	8	8	0
7月 15日	郡山市労働福祉会館	31	4	27	25	2
9月 12日	会津若松合同庁舎	20	0	20	20	0
12月 7日	あづま荘	32	2	30	30	0
2月 14日	郡山市労働福祉会館	45	3	42	39	3
計		137	10	127	122	5

※ 再交付に係る審査を除く。

3 銃砲刀剣類の譲受け・相続等の届出状況

区 分	銃 砲 等	刀 剣 類
譲 受 け	12	584
相 続	2	133
貸 付	1	0
保管の委託	0	1
計	15	718

第6節 福島県文化財センター白河館の運営状況

1 入館者数

令和4年度の入館者は11,976人であり、前年度の入館者(10,831人)に比べ1,145人増加した。団体利用は、前年度に比べ928名増加した。平成13年7月の開館からの延べ入館者数は、598,812人となった。

(令和5年3月31日現在)

月	入館者数(人)	1日平均入館者数(人)
4月	753	30
5月	1,125	43
6月	1,017	39
7月	1,376	50
8月	1,195	45
9月	1,155	44
10月	1,021	39
11月	1,217	48
12月	597	25
1月	633	27
2月	976	42
3月	911	35
計	11,976	39

2 入館者の内訳と傾向

地域別利用状況 県内者 81.5% (うち総入館者数に占める白河市の割合 39.4%)

県外者 18.5%

年齢層別利用状況 入館者全体のうち、児童生徒(高校生以下)が32.0%、団体入館者が17.7%を占める。

3 団体利用者の内訳と傾向

(単位 人) (令和5年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
幼稚園・保育園	団体数	1	1	1			2	1	2			1	7	16
	入館者数	15	9	9			28	14	22			14	84	195
小学校	団体数	1		11	7		2	3	1			4	1	30
	入館者数	12		331	339		134	96	20			226	22	1,180
中学校	団体数						1							1
	入館者数						35							35
高等学校	団体数				1			1						2
	入館者数				33			28						61
支援学校	団体数									1				1
	入館者数									27				27
大学	団体数													0
	入館者数													0
幼小中高PTA (保護者のみ)	団体数													0
	入館者数													0
幼小中高PTA (保護者と児童生徒)	団体数			1			1							2
	入館者数			44			88							132
研究会	団体数													0
	入館者数													0
子ども会	団体数									1				1
	入館者数									30				30
公民館等	団体数			1	3			1	4					9
	入館者数			13	65			13	79					170

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉施設・ デイケアサービス	団体数		2		1	1				1	1	1	1	8
	入館者数		36		9	14				10	20	7	15	111
資料館等	団体数													0
	入館者数													0
歴史研究団体	団体数													0
	入館者数													0
県・市町村・ 教委・審議会等	団体数									1		1		2
	入館者数									8		4		12
その他	団体数			1	3		3	3	1	1	1			13
	入館者数			15	29		45	38	9	17	15			168
計	団体数	2	3	15	15	1	9	9	8	5	2	7	9	85
	入館者数	27	45	412	475	14	330	189	130	92	35	251	121	2,121
総入館者に占める 団体入館者の割合(%)		3.59	4.00	40.51	34.52	1.17	28.57	18.51	10.68	15.41	5.53	25.72	13.28	17.71

4 情報発信事業の利用者

ホームページアクセス件数 33,413 件

(令和5年3月31日現在)

(文化財データベースのほか、福島県文化財センター白河館の行事予定等をホームページで紹介している。)

5 資料管理業務

県教育委員会による調査の出土品等 57,841 箱を、教育・普及・研究への活用が可能な環境に整備して収蔵管理している。写真掲載・転載の申し込み 23 件、出土品借受の申し込み 8 件、収蔵庫保管品の館内閲覧 13 件であった。

6 研修事業の状況

埋蔵文化財や無形の文化財の調査・保護を担当する自治体・団体職員、文化財保護指導者、学校教育・生涯学習に携わる教職員などを対象とした研修を実施する。

区分	研修対象	研修内容
基礎研修 (2回)	市町村職員等	市町村が直面する課題や先行実践例の検証などを通して、文化財保護法改定後の文化財保護行政のあり方を議論する。
専門研修 (2回)	市町村職員、市町村文化財保護指導者等	市町村文化財保護行政の実践例を現地で検証し、埋蔵文化財調査における脆弱遺物の取り扱い方法について学習を行う。
特別研修 (1回)	市町村職員等	市町村の要望に応じて館内外において随時実施。

令和4年度研修実施状況

(令和5年3月31日現在)

・基礎研修(2回)

「文化財保護行政実務者研修」 7月15日 参加者 20名
(オンライン併用開催)

「文化財分析研修」 8月26日 参加者 4名

・専門研修(2回)

「文化財保護指導者研修会」 10月20日～21日 参加者延べ 121名

「専門技術研修」 1月20日 参加者 2名

・特別研修(1回)

「白河市天王山遺跡出土石器の石質に関する指導」
12月7日 参加者 2名

7 体験学習事業の状況

過去の生活の一部を体験しながら学べるよう、復元品等を用いた体験学習の普及活動を、館内・館外で行う。

活動を行うための施設として、屋内に体験活動室を設けている。また野外展示施設では、体験広場を囲むように、縄文時代の家、前方後円墳、奈良時代の家、奈良時代の倉庫、製鉄炉、室町時代の館を復元展示している。

(1) いつでもできる体験学習

事前に予約を必要としない個人来館者を対象に実施するメニューと、事前予約制で、団体で体験学習を希望する場合を対象とするものを用意している。内容は、「勾玉づくり」「火おこしに挑戦」のほか、月替わりの期間限定メニューを用意している。

常時体験型体験活動状況 (令和5年3月31日現在)

月	来館者数(人)	体験者数(人)	割合(%)
4月	753	162	21.5
5月	1,125	391	34.7
6月	1,017	162	15.9
7月	1,376	393	28.5
8月	1,195	643	53.8
9月	1,155	269	23.2
10月	1,021	231	22.6
11月	1,217	695	57.1
12月	597	177	29.6
1月	633	198	31.2
2月	976	231	23.6
3月	911	176	19.3
計	11,976	3,728	31.1

※ 体験者数は1人で複数メニューを体験した場合も合算した延べ人数である。

(2) 募集型体験学習

事前に参加者を募集して土器づくり、ガラス玉づくりなどの単発プログラムを行う「実技講座」、事前に参加者を募集し、関連性・継続性のあるメニューを年間で実施する「まほろん森の塾」などのプログラム。

・まほろん森の塾

第1回 「入塾式ほか」	6月12日	参加者8名
第2回 「布ぞうりづくり」	7月10日	参加者8名
第3回 「まほろん周辺の文化財見学」	9月4日	参加者7名
第4回 「小峰城周辺の文化財見学」	10月23日	参加者8名
第5回 「文化財マップづくり・修了式ほか」	11月27日	参加者7名

・実技講座

大堀相馬焼に挑戦①「印花づくり」	5月29日	参加者12名
大堀相馬焼に挑戦②「皿づくり成形」	6月26日	参加者12名
U-15実技講座「土器をつくろう」	7月30日	参加者19名
	7月31日	
U-15実技講座「土偶をつくろう」	9月10日	参加者15名
	9月11日	

ガラス玉づくり実験①「鋳型製作」	11月12日	参加者5名
ガラス玉づくり実験②「焼成実験」	12月10日	参加者5名
土師器づくり①「成形・調整」	1月25日～2月1日	参加者延べ20名
土師器づくり②「野焼き」	3月19日	参加者5名
・実技講座 (web 配信)		
「おうちでできる土器づくり」	通年	参加者54名

(3) 館外体験学習

ア おでかけまほろん

福島県文化財センター白河館から、小中学校等教育機関等へ職員が出向き、収蔵資料等を活用した学習や体験学習を教職員と協働で行うプログラム。令和4年度は19カ所で行われ、参加者数は合計798名であった。

第1回 郡山市立ひわだ小学校	5月12日	参加者83名
第2回 いわき市立小玉小学校	5月26日	参加者20名
第3回 田村市立船引小学校	6月9日	参加者119名
第4回 二本松市立二本松南小学校	6月23日	参加者45名
第5回 本宮市立岩根小学校	6月23日	参加者70名
第6回 相馬市立桜丘小学校	6月30日	参加者85名
第7回 小野町立小野小学校	7月14日	参加者78名
第8回 会津若松市 東公民館	7月31日	参加者23名
第9回 南相馬市立上真野小学校	9月8日	参加者17名
第10回 郡山市立小原田小学校	9月22日	参加者76名
第11回 福島県立会津支援学校小学部	10月6日	参加者18名
第12回 福島県立会津支援学校高等部	10月6日	参加者37名
第13回 会津若松市 北会津公民館	10月16日	参加者16名
第14回 桜の聖母学院小学校	10月27日	参加者20名
第15回 福島市立平田小学校	10月27日	参加者14名
第16回 双葉町立双葉南・北小学校	11月10日	参加者16名
第17回 桑折町立半田醸芳小学校	11月17日	参加者13名
第18回 会津美里町 本郷学習センター	11月20日	参加者12名
第19回 二本松市 石井公民館	12月15日	参加者36名

イ 生涯学習行事への出席

栃木県那須高原ビジターセンター主催の「なすビジ秋まつり」に参加し、収蔵資料の展示等を実施した。参加者数は101名であった。

8 講演会・講習会

文化財に親しみ、文化財への理解を深めるために、講演会や講座を開催した。

(1) 館長講演会

6回開催

- 菊池徹夫館長最終講演会「蝦夷論の系譜と東北考古学」
(福島会場) 6月4日 聴講者130名
(白河会場) 6月5日 聴講者 98名
石川日出志館長就任講演会「考古学の魅力にはまる」
8月20日 聴講者 36名
第2回「東日本を先導した福島の弥生時代研究」
9月25日 聴講者 30名
第3回「国宝『漢委奴国王』金印の考古学」
12月4日 聴講者149名
第4回「国史跡を育むー白河市天王山遺跡を事例にー」
2月5日 聴講者350名

(2) 文化財講演会等

6回開催

- 講座 子ども考古学教室1「土器を学ぼう」
7月23日 参加者 19名
講座 子ども考古学教室2「石器を学ぼう」
8月6日 参加者 19名
講演会 ふくしまの上古刀関連講演会1
10月29日 参加者 33名
講演会 ふくしまの上古刀関連講演会2
11月26日 参加者 39名
講演会 古代ふくしまの開発関連講演会1
1月22日 参加者 39名
講演会 古代ふくしまの開発関連講演会2
3月11日 参加者118名

9 常設展事業

常設展示室では、以下のコーナーを設けて、収蔵遺物や復元品を理解しやすい形で展示している。

「暮らしのうつりかわり」「暮らしをささえた道具」「A：旧みんなの研究ひろば」「B：旧話題の遺跡」「C：旧しらかわ歴史名場面」各コーナーにおいては展示替えを積極的に行い、歴史や文化財等に関する新鮮な情報を提供した。

- 暮らしのうつりかわり(昭和～旧石器時代の出土品等)
- A：旧みんなの研究ひろば(まほろん de 考古学『もの違いを楽しむ』、まほろん和鏡コレクション等)
- B：旧話題の遺跡(X線CTからみる土偶の構造、八景腰巻遺跡展等)
- C：旧しらかわ歴史名場面(東北自動車道関連遺跡の調査ー古代白河郡のムラー、博物館実習生による展示等)
- 重要文化財公開(国指定法正尻遺跡出土品)
- プロムナードギャラリー等でのミニ展示及び展示替え
・「まほろんの逸品」(玉川村江平遺跡出土遺物等)

10 企画展事業

特別展示室では、指定文化財展・収蔵資料展などの企画展を開催している。

(1) ふくしま歴史探訪展

「戦後ふくしまの考古学ー福島県学生考古学会の発足から福島県史の刊行までー」
1月22日～5月8日 観覧者 3,139名

(2) 収蔵資料展

「U(アンダー)ー15の考古学」
6月18日～9月25日 観覧者 4,066名

(3) 指定文化財展

「ふくしまの上古刀」
10月22日～12月4日 観覧者 1,804名

(4) ふくしま歴史探訪展

「古代ふくしまの開発ー矢吹が原を中心にー」
1月21日～5月7日 観覧者 3,930名

(5) 移動展

教育普及機関・研究機関等と連携して、移動展を実施した。
○「戦後ふくしまの考古学ー福島県学生考古学会の発足から福島県史の刊行までー」
11月5日～11月30日(場所：福島県立図書館)
観覧者10,967名

11 ボランティア運営事業

(1) 「まほろんボランティア」の活動状況

縄文時代の家、奈良時代の家の燻蒸
野外展示等の解説会
体験学習用器材の整備など
ボランティア連絡会・研修会(3回開催)

(2) 登録数

個人ボランティア 33名

12 市町村への技術支援の状況

文化財保護に対する個別の技術支援が必要な市町村に対して、専門職員の派遣を実施する。令和4年度は、2市1町に対し計4回、職員を派遣した。

- ・文化財に係る災害時の応援活動支援に関する協定に基づく支援要請 伊達市(1回)
- ・出土品の分析 郡山市(2回)
- ・資料の保存環境整備に係る指導 大熊町(1回)

13 その他

(1) イベントの開催

- ・「まほろん感謝デー」・「移動水族館アクアラバン」
11月6日・7日 参加者 504名

